

報道機関への情報提供 (2017/9/25)

県北広域振興局

「いわてアパレル企業ビジネスマッチングフォーラム in TOKYO」の開催について

(経営企画部)

県北広域振興局と公益財団法人いわて産業振興センターでは、東京交通会館(東京都千代田区有楽町)にて、標記商談会を開催します。

岩手県アパレル関連企業と首都圏等の発注企業が商談を行う本ビジネスマッチングフォーラムは、平成22年度から岩手県二戸市にて開催してまいりましたが、27年度から東京都に会場を移し、今年度で8回目となります。取材いただきますようお願いします。

記

- 1 名称 いわてアパレル企業ビジネスマッチングフォーラム in TOKYO
- 2 日時 平成29年9月28日(木) 13:00~17:00
平成29年9月29日(金) 10:00~15:30
- 3 会場 東京交通会館3階「グリーンルーム」(東京都千代田区有楽町2-10-1)
- 4 参加対象 岩手県のアパレル関連企業、首都圏等のアパレル製品製造発注企業
- 5 主催 岩手県県北広域振興局、公益財団法人いわて産業振興センター
- 6 共催 岩手県県北地域産業活性化協議会、県北ものづくり産業ネットワーク、
一般社団法人北いわてアパレル産業振興会
- 7 内容 ビジネスマッチング(28日 個別面談/1回30分×7回)
(29日 個別面談/1回30分×8回)

※参加企業数

- ・発注企業21社
- ・受注企業13社

【問合せ先】(公財)いわて産業振興センター たかはしじょう 高橋 尉

電話 019-631-3823

【担当】岩手県県北広域振興局経営企画部 企画推進課

電話 0194-53-4981(内線357)

いわてアパレル企業ビジネスマッチングフォーラム in TOKYO 実施要領

1 目的

岩手県北（二戸・久慈）地域の産業振興、特にものづくり産業の振興には、各々の企業の強みを複合させ、地域の力とするような「広域的取組」が重要となっている。

本事業は、県北地域の重要な産業の1つである「縫製業」に着目し、県北地域含めた岩手県全域を対象とした縫製企業と首都圏等発注企業とのビジネスマッチングの機会を創出することにより、当該地域における企業の技術力、競争力を高め、取引の活性化を図ることを目的とする。

2 主催

岩手県県北広域振興局、（公財）いわて産業振興センター

3 共催

岩手県県北地域産業活性化協議会、県北ものづくり産業ネットワーク（岩手県）、一般社団法人北いわてアパレル産業振興会

4 開催日時

平成 29 年 9 月 28 日（木） 13:00～17:00 ～ 29 日（金） 10:00～15:30

5 場所

東京交通会館（東京都千代田区有楽町）3階展示会場「グリーンルーム」

6 参加対象企業

岩手県（県内全域を対象とする）、首都圏のアパレル企業のうち、同業他社との交流・連携・協業・受発注等の取引を求める企業

7 参加企業数

発注企業 21 社

受注企業 13 社

全 34 社

8 開催内容

（1）開会

（2）ビジネスマッチング（個別面談/1回30分×7回（1日目）、8回（2日目））

参加企業は、事前に配布する名簿に基づき面談先を指名する。

発注企業からの指名を優先して、面談スケジュールを事務局で調整する。

必要に応じサンプルを持参することも可能。

【復興支援道路】一般国道281号 案内工区 の開通について

(県北広域振興局土木部)

祝 開通 地域連携道路整備事業 一般国道281号案内工区

県が『復興支援道路』として整備を進めてきた、一般国道281号案内工区が、**平成29年11月19日に開通する**見込みとなりましたのでお知らせします。

今回の開通により円滑で安心・安全な通行が確保され、物流や観光といった産業振興や救急搬送のアクセス性向上等様々な効果が期待されます。

○ 開通により期待される整備効果

- 効果1 : 安全で信頼性の高い道路ネットワークの形成
- 効果2 : 安心・安全な通行の確保 (特に冬期間)
- 効果3 : 重要港湾久慈港や救急医療施設へのアクセス向上

- 開通区間 一般国道281号「案内工区」(2.1km)
(久慈市山形町川井第4地割～同市山形町戸呂町第11地割)
- 開通日時 平成29年11月19日(日曜日)13時(予定)

開通式典

- 開催日時 : 平成29年11月19日(日) 大安 10時30分～(概ね1時間程度)
- 開催場所 : 久慈市山形町案内地内(山形側のトンネル坑口付近)

【事業概要】

一般国道281号は、盛岡市から、岩手町、葛巻町を經由し、久慈市に至る広域的な幹線道路であり、内陸部と沿岸北部を結ぶ物流路線や観光ルートとしての産業振興のほか、緊急輸送道路の第1次路線に指定されるなど重要な役割を担っております。

当該箇所は、幅員狭小で急カーブが連続する隘路区間となっていることから、本事業により安全で円滑な通行が確保され、緊急輸送道路としての信頼性を高め、幹線道路の機能向上を図るものです。

なお、県では、災害に強く信頼性の高い道路ネットワークの構築等を目的として三陸復興道路整備事業に取り組んでおり、一般国道281号を『復興支援道路』として位置づけし重点的に整備を進めています。

- ・延長 2,100m
- ・道路幅員 一般部 : 6.0(9.0)m トンネル部 : 6.0(7.5)m
- ・主要構造物 案内トンネル1,150m 新芋谷橋54m
- ・事業期間 平成24年度～平成29年度
- ・総事業費 約40億円

【担当 : 道路整備課 課長 中田 Tel0194-53-4990 (内線261)】

(次頁あります)

一般国道281号案内工区 開通式典

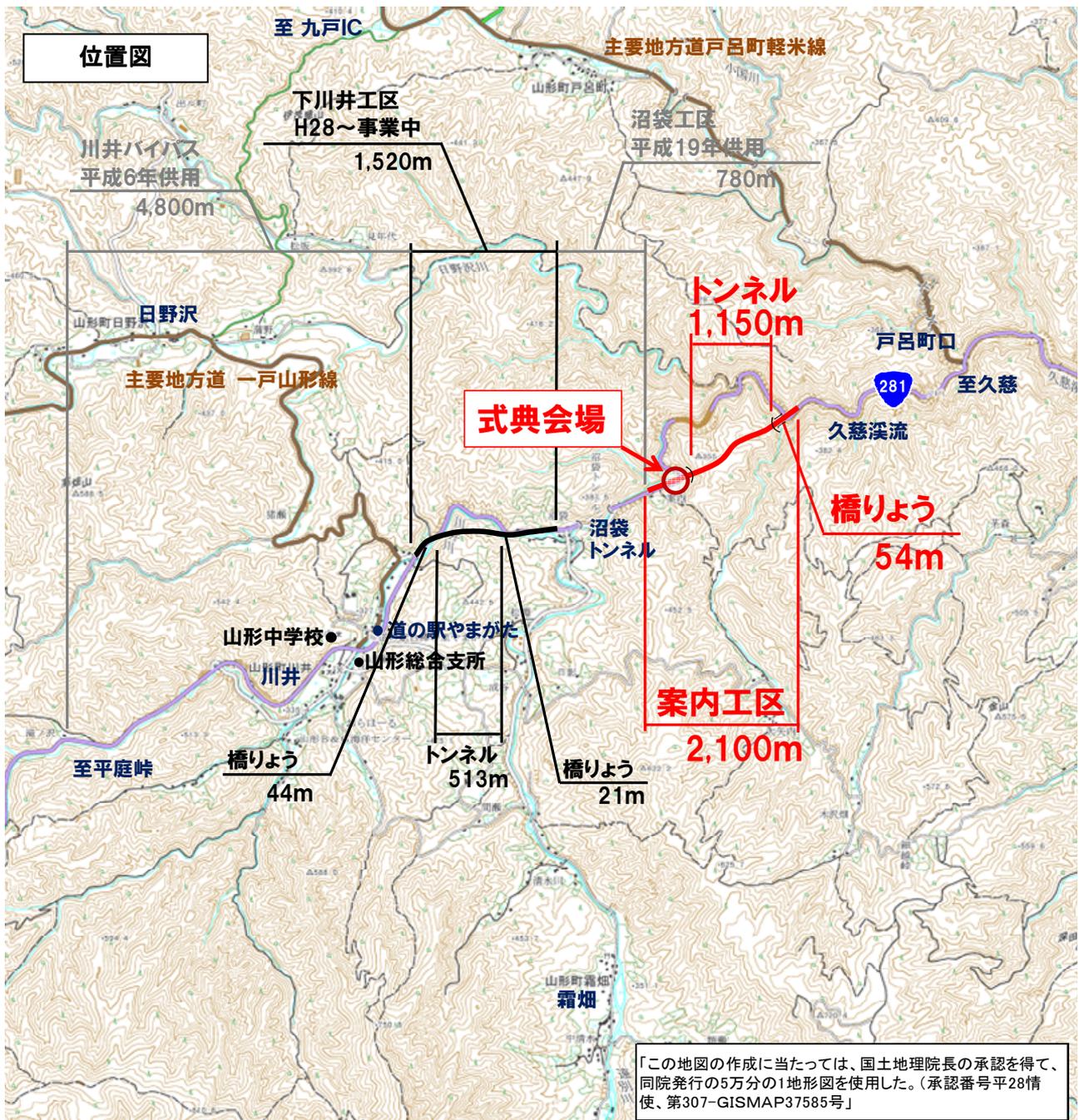
開催日時：平成29年11月19日（日）大安 10時30分～（概ね1時間程度を見込んでおります）

開催場所：久慈市山形町案内地内（山形側トンネル坑口付近）

主催：県北広域振興局長

来賓等：岩手県議会議員、久慈市長、久慈市議会議員、地権者、地元児童等

式典内容：来賓あいさつ、テープカット、くす玉開披、芸能、開通パレード



効果1 安全で信頼性の高い道路ネットワークの形成

東日本大震災では、救急救命活動や救援物資輸送など緊急輸送道路として重要な役割を果たしており、岩手県大震災津波復興計画において、復興支援道路と位置付け、災害に強く信頼性の高い道路ネットワークの強化が図られます。



効果2 安全・安心な通行の確保（特に冬期間）

当該区間は、急カーブが9箇所連続し、道路幅員は7.0mと狭小で堆雪帯が確保されていないことから、特に冬期間の通行に支障をきたしていました。

今回の整備により、急カーブが解消され、幅員は堆雪帯含め9.0mに拡幅され、且つ見通しもよくなること及び防災点検による要対策となった8箇所も回避することとなるため、より安全で安心な通行が確保されます。

また、3kmから2kmの距離短縮と急カーブの解消等により、約2分の移動時間短縮が見込まれます。



効果3 重要港湾久慈港や救急医療施設へのアクセス向上

重要港湾久慈港と内陸部を結ぶ物流ルートとしてアクセス性が向上し、物流の効率化が期待されます。

また、救命救急センターに指定されている県立久慈病院への主要な搬送ルートとして、患者負担が軽減し、医療施設への安定搬送が図られます。